

2006年3月期 中間決算説明会 株式会社 オートバックスセブン



2005年11月14日

代表取締役CEO 住野 公一

2006年3月期 中間期業績サマリー

チェーン業績

連結業績

2006年3月期 通期計画

下期の取り組み

2006年3月期 中間期業績サマリー

2006年3月期 中間期業績サマリー



チェーン売上高、連結業績とも
対前年・計画を上回った好決算

	2006年3月期 中間期	対前年比	対計画比
チェーン売上高	1,410	104.7%	101.5%
連結 売上高	1,139	106.3%	103.6%
連結 経常利益	85	175.6%	157.8%

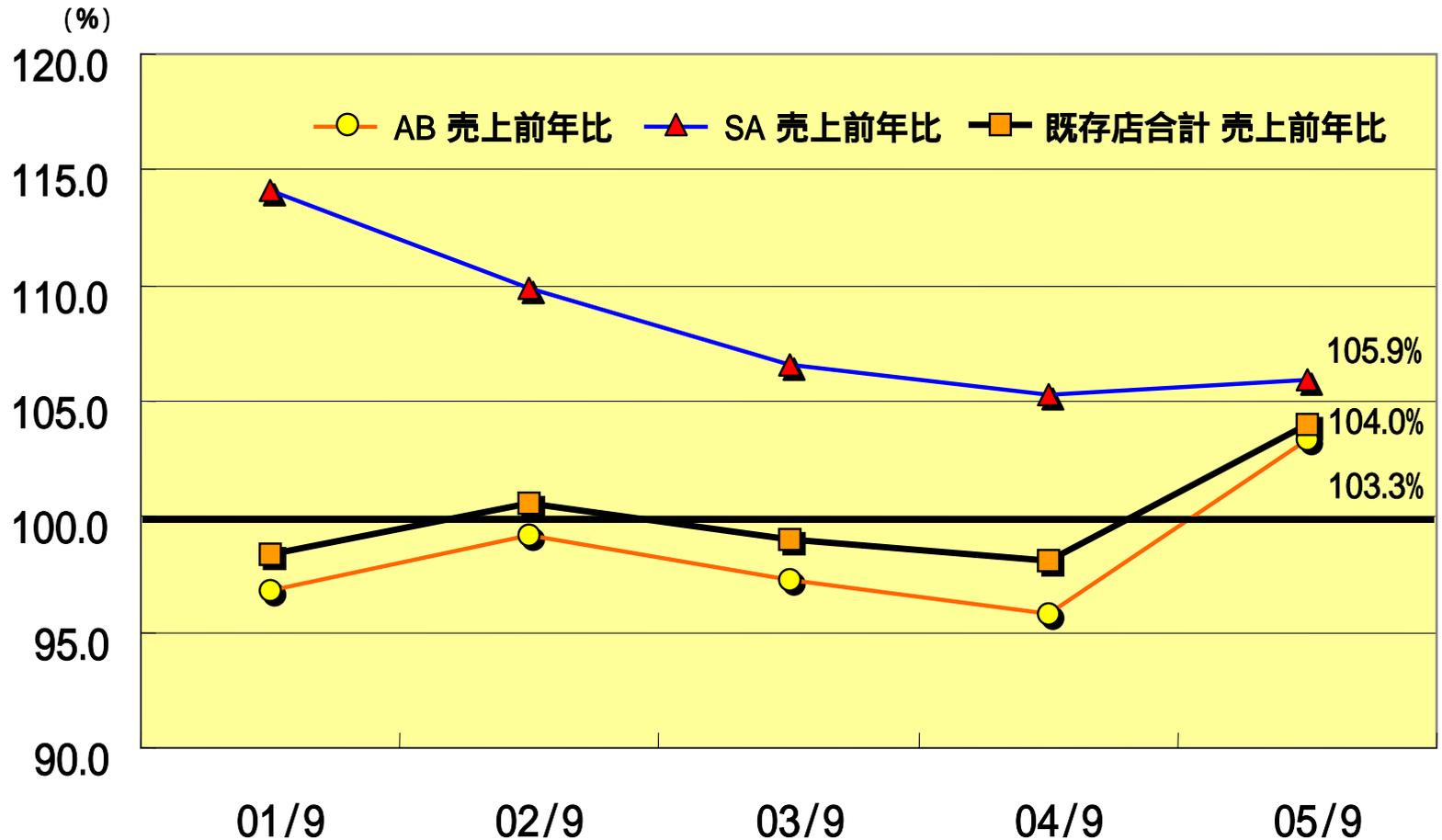
(億円)

チェーン売上高に含む業態 : スーパーオートボックス、オートボックス、オートボックス走り屋天国セコハン市場、オートハローズ

チェーン業績

- 1 既存店前年増減比の推移

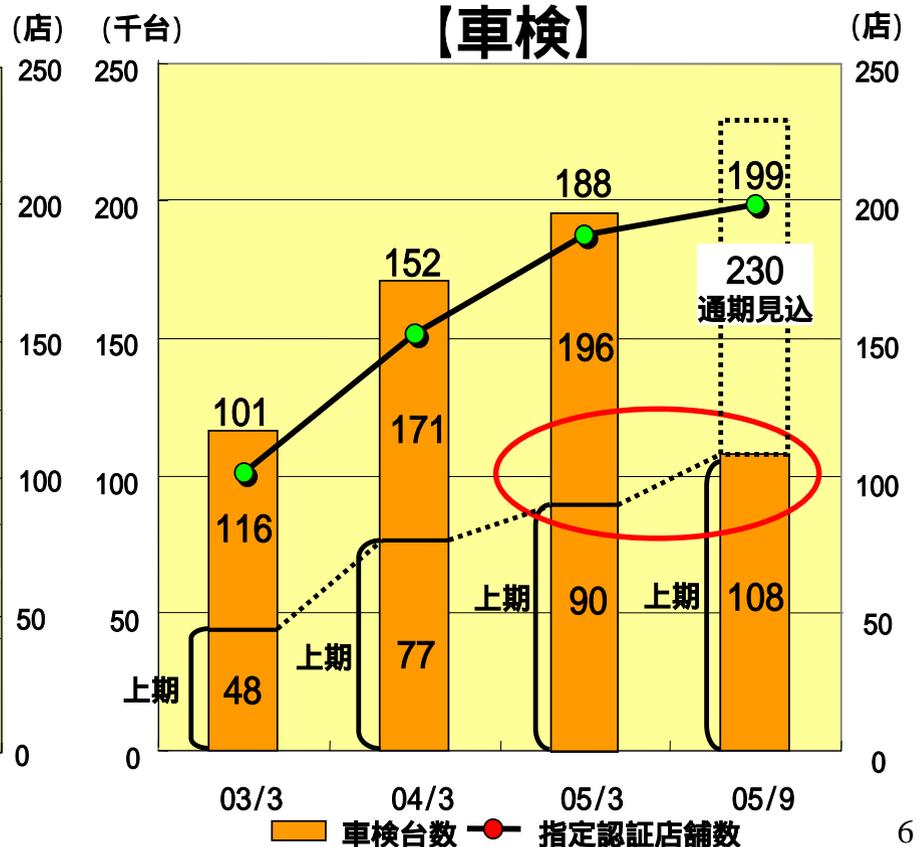
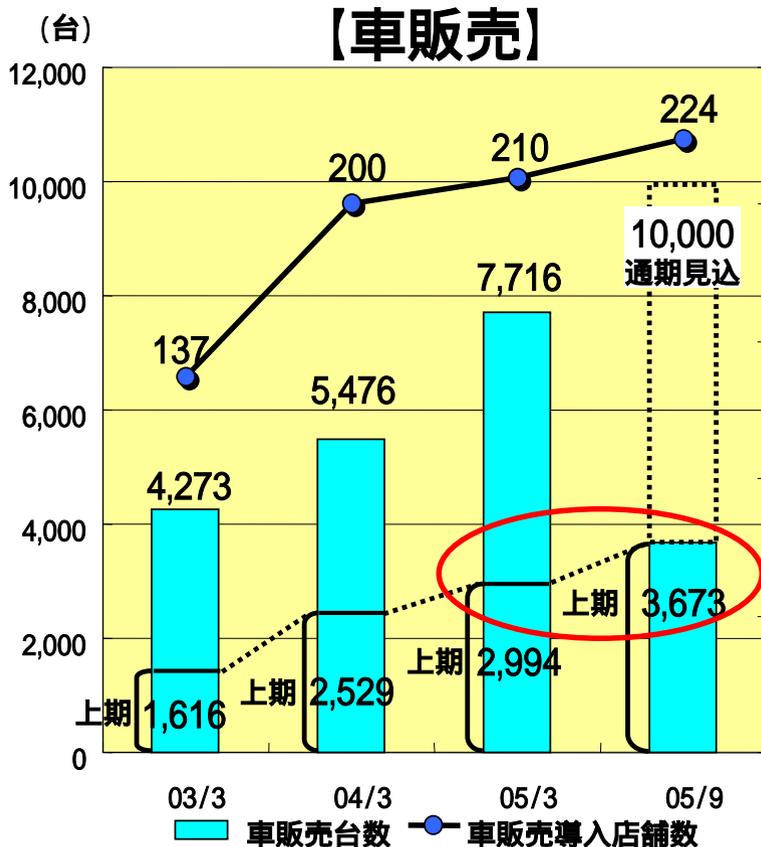
既存店売上高の前年増減比がプラスに転じた



- 2 車販売・車検の実績

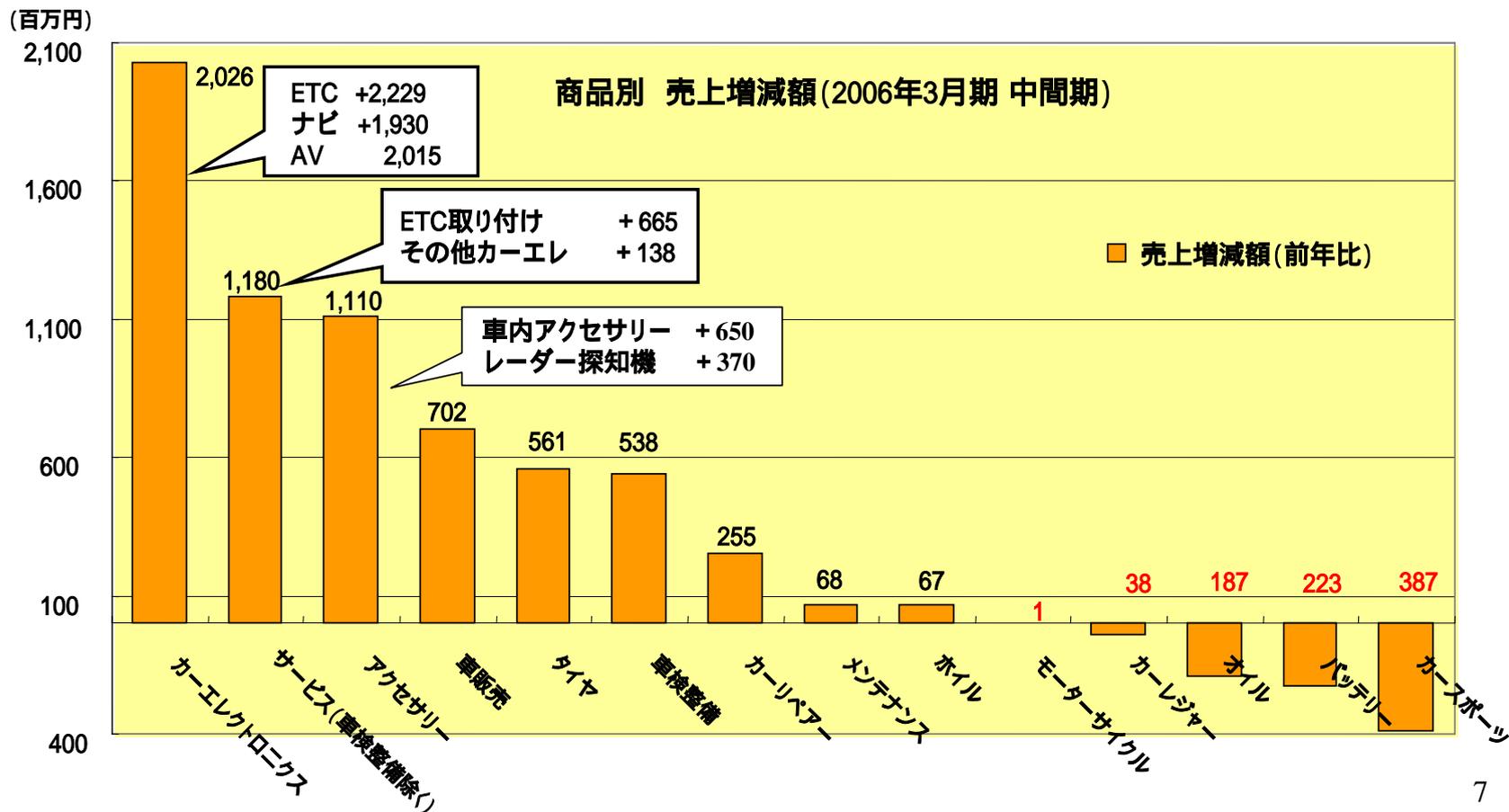
車販売・車検とも対前年台数は順調な伸び

《車販売》 導入店舗数の増加に加え、新車販売の導入により台数増加
 《車検》 指定認証店舗数が増加、既存店も台数増加



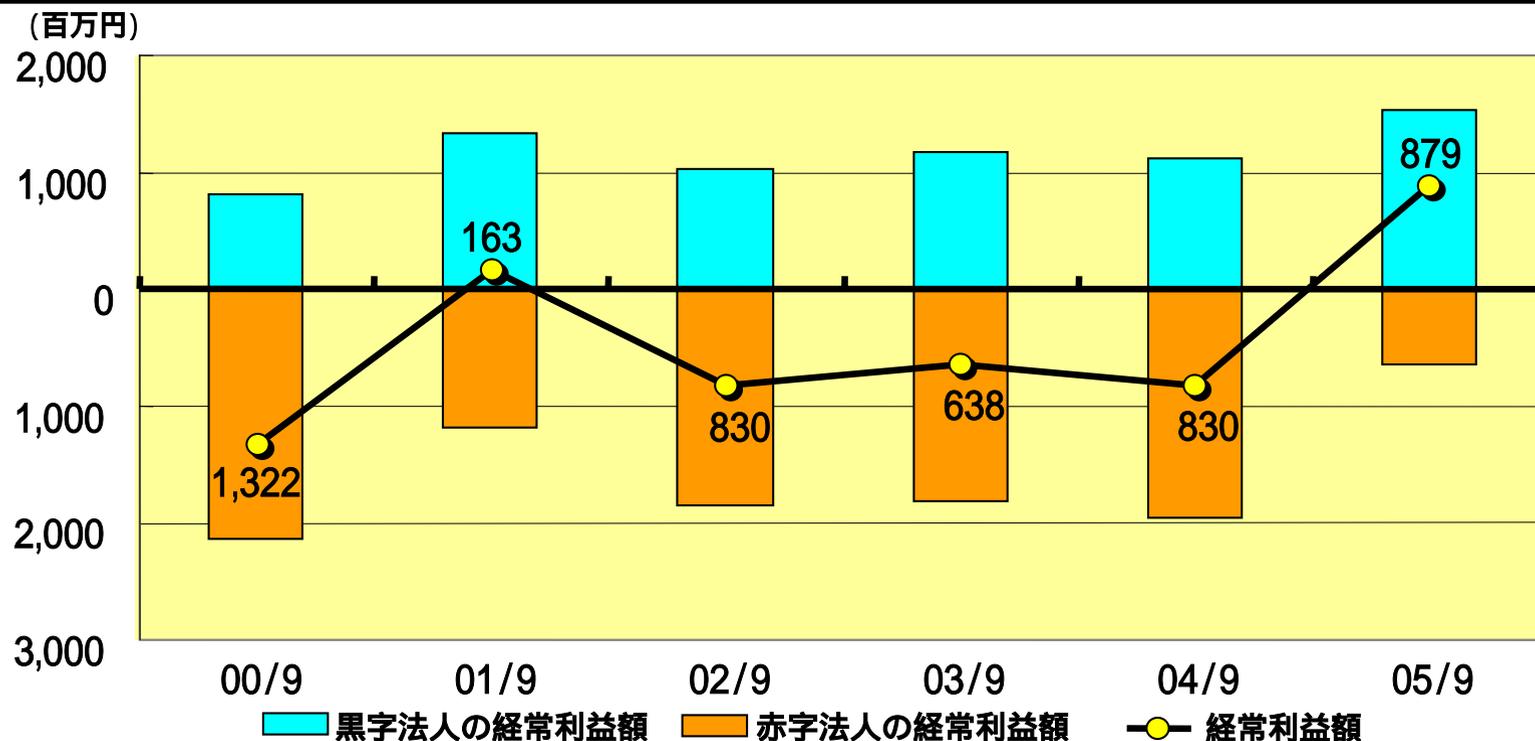
- 3 商品別売上高増減額

**重点施策の効果により、
カーエレクトロニクス・アクセサリーが好調**



- 4 非公開FC法人の経常利益額の推移

チェーン売上の好調により、FC法人の収益も回復



	2000/9	2001/9	2002/9	2003/9	2004/9	2005/9
黒字法人数	53	73	52	57	41	68
赤字法人数	94	71	87	72	83	48

連結業績

- 1 2006年3月期 中間期 総括



チェーン売上好調により連結売上が増加 販売費の削減と子会社の統廃合効果による収益改善

- (1) 単体
 - ・ カーエレクトロニクス部門の粗利率の改善
 - ・ 販売費の削減
 - ・ FC業績改善による貸倒引当金の減少
- (2) 国内店舗子会社
 - ・ 前年までの統廃合による収益改善
 - ・ 売上増加に伴う収益の改善
- (3) 海外店舗子会社
 - ・ フランスの統廃合による収益改善



- 2 2006年3月期 中間連結業績(カテゴリー別)

		05/9実績	04/9実績	対前年 (百万円)
【連結】	売上高	113,916	107,209	6,707
	経常利益	8,520	4,853	3,667
単体	売上高	95,964	92,414	3,550
	経常利益	8,091	5,017	3,074
国内 店舗子会社	売上高	36,651	36,177	474
	経常利益	524	345	869
海外 店舗子会社	売上高	4,079	2,354	(1,725)
	経常利益	306	524	(218)
機能子会社	売上高	6,813	7,540	727
	経常利益	490	235	255
トータルカーライフ 事業子会社	売上高	3,760	3,683	77
	経常利益	27	25	2

今期より不動産賃貸収入およびリース料収入は売上高に含めております。
 今期より海外子会社の決算日の取り扱いの変更により、中間期は9ヶ月の実績となっております。
 ()内の数値には3か月分の売上高、経常利益が含まれております。

2006年3月期 通期計画

2006年3月期 通期計画



		06/3 計画	05/3実績	対前年 (百万円)
【チェーン】	売上高	294,000	291,459	2,541
【連結】	売上高	225,000	226,779	1,779
	経常利益	15,000	12,694	2,306
単体	売上高	196,500	194,195	2,305
	経常利益	14,300	12,606	1,694
国内 店舗子会社	売上高	76,600	76,741	141
	経常利益	1,213	463	750
海外 店舗子会社	売上高	5,000	4,771	(229)
	経常利益	450	742	(292)
機能子会社	売上高	13,000	14,631	1,631
	経常利益	500	625	125
トータルカーライ 事業子会社	売上高	7,400	7,342	58
	経常利益	60	60	0

今期より不動産賃貸収入およびリース料収入は売上高に含めております。
 今期より海外子会社の決算日の取り扱いの変更により、中間期は9ヶ月の実績となっております。
 ()内の数値には3か月分の売上高、経常利益が含まれております。

下期の取り組み

下期の取り組み



「好調」を「善循環」へ

年度方針

「競争力の再生」

重点分野

競争力基盤の整備

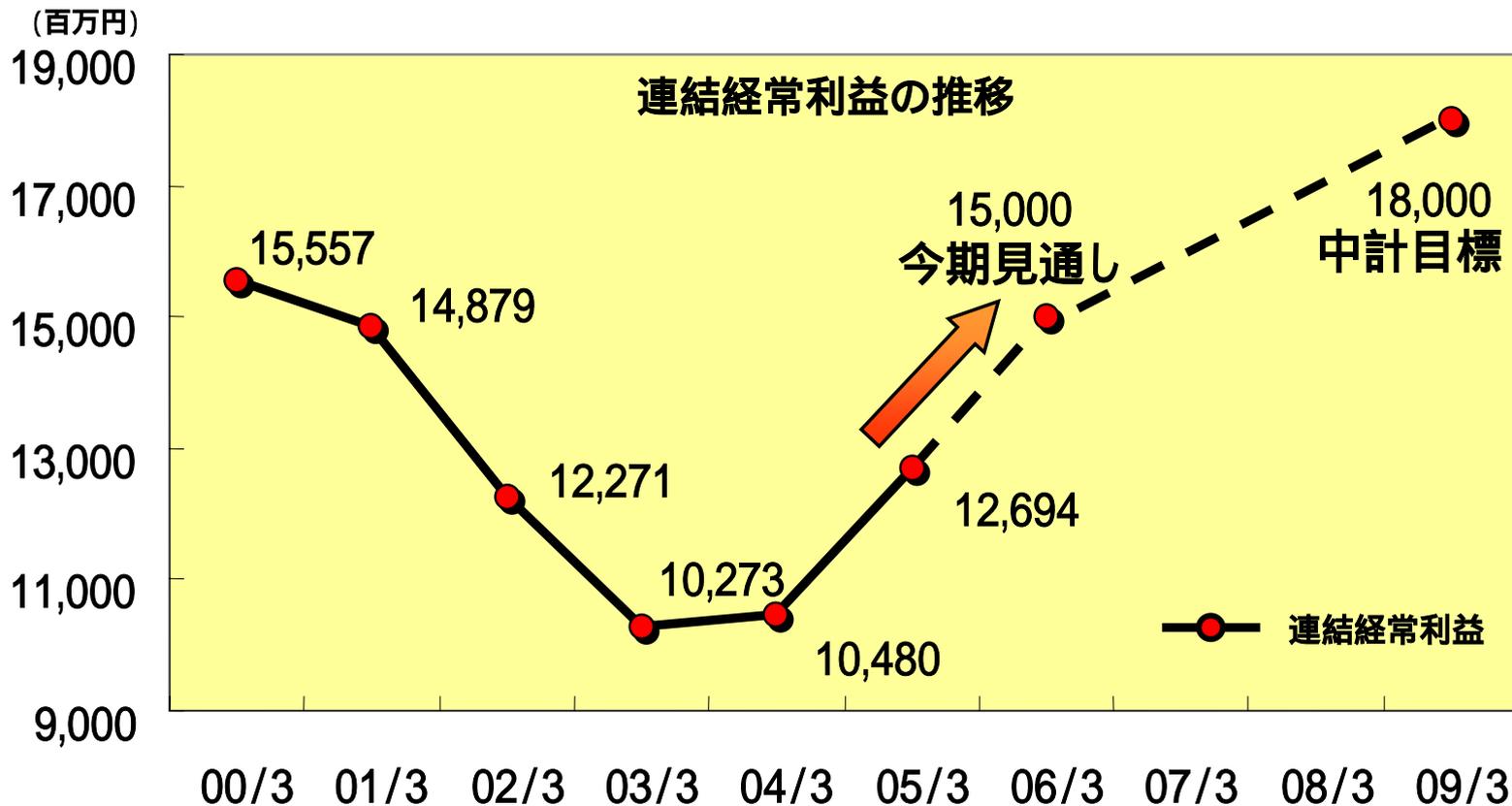
競争戦略の確立

人材育成
接客力・5S
商品販売力
技術力
マネジメント力

下期重点施策の徹底
カー用品
車検・整備
車販売



3期連続の増益を達成し、中計達成に向けて邁進する





見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。

2006年3月期 中間決算説明会 株式会社 オートバックスセブン



2005年11月14日